



デジタル田園都市国家構想交付金〈地方創生推進タイプ〉 充当事業の取組実績（令和6年度）

令和6年度実施事業（総括）

● デジタル田園都市国家構想交付金〈地方創生推進タイプ〉

- ・ 観光や農林水産業の振興など、地方創生に資する取組（主にソフト事業）を支援（内閣府）。
- ・ 地方版総合戦略の推進に資する事業に対して交付。

● 京都市の取組状況

- ・ 地方創生については、地域間連携や政策・施策間連携により取り組むことが有用なため、京都府及び府下市町村（9事業）、滋賀県大津市（1事業）と連携。
- ・ 令和5年度以前から継続の10事業を実施（うち1事業については交付金申請なし）。

● 取組の進捗評価

- ・ 本市の地方版総合戦略として位置づけられている京都SDGs未来都市計画について、7割以上の項目で目標値を達成。達成できなかった項目についても、多くが当初値より着実に数値が向上するなど、全体として順調に進捗。
- ・ 特に、京都市わかもの就職支援センターの支援を受けた市内中小企業の就職者数やスタートアップ設立件数が大幅に目標を上回るなど、若者の地元定着と新たな産業創出という好循環に繋がっている。
- ・ 他にも、学生と地元企業との交流会等により、若者が京都でキャリアを築くための具体的な道筋を示した。また、GX分野での起業セミナーや海外展開への支援により、未来の京都経済を担う事業者の底上げを行った。
- ・ さらに、伝統産業の職人と若手クリエイターが協業による現代的な商品開発や、観光客が市内の文化遺産を巡るデジタルスタンプラリー企画を実施した。これらの取組は、周遊観光や担い手の確保支援を通じて、京都の文化的な魅力が地域経済の活性化へも寄与する好事例となっている。
- ・ 事業運営面では、交付金事業全体の採択額323,850千円に対し、実績額は320,616千円、執行率は99.0%であった。これは、各事業が計画通りに、かつ交付金を効率的に活用できたことを示すものであり、適切な進行管理が行われた結果と評価できる。

令和6年度実施事業（一覧）

（単位：千円）

No	事業名	採択額	実績額
①	アート＆クラフト市場の活性化と文化観光のコラボによる文化芸術産業創生事業	32,400	32,400
②	あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を～みんなが主役の地域振興事業～	43,350	43,350
③	移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」	65,200	65,200
④	「人づくり」から「しごとの場づくり」まで一体で創造する京都・キャンパス創生事業	60,200	60,200
⑤	京都文化を背景として世界市場で存在感を放つ、京都の伝統産業の「生活文化提案型産業」への変革促進事業	17,200	17,200
⑥	京もののブランド総合戦略事業	2,300	2,151
⑦	びわ湖疏水船事業を中核とする疏水フィールドミュージアム広域化事業	13,250	11,543
⑧	文化庁京都移転を契機とした京都からの文化創造・発信事業	—	—
⑨	大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業	64,700	64,566
⑩	若者の活躍・夢実現と活力ある京都経済づくり事業	25,250	24,006
合計		323,850	320,616

実施事業①

アート&クラフト市場の活性化と文化観光のコラボによる文化芸術産業創生事業

- **連携先**：京都府（代表）及び府下市町村（3自治体）
- **実施期間**：令和2年度～令和6年度（5年間）
- **事業概要**：アート＆クラフトの一大流通市場を京都に形成し、アート市場を活性化し、芸術家や職人の京都での活躍を促進する。また、特別な体験コンテンツを造成し、観光客の府域全体への周遊を促進する。
- **本市の主な取組（令和6年度）**：
 - ▶ 障害福祉事業所等の芸術創造活動への巡回支援、障害者アート作品デジタルアーカイブ化
 - ▶ 伝統産業団体が実施する展示会等への支援、新たな京都ファンの開拓と伝統産業をはじめとする地場産業の振興のため、動画配信やオリジナル商品の企画・制作
 - ▶ 「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」普及啓発のための京都の文化遺産ホームページの改修等
 - ▶ 京都の文化遺産を維持継承・活用するため「京都遺産」デジタルスタンプラリーの更新やパンフレット増刷による普及啓発
 - ▶ 適切な環境整備、維持管理による文化財の保存
- **本市の基本目標・数値目標**：
 - ▶ 豊かに暮らせるまち：観光やまちの賑わいづくりへの「京都遺産」活用事例数 40件（目標値30件）
 - ▶ 目標（30件）を上回る40件の「京都遺産」活用を達成。デジタルスタンプラリー等で観光客の周遊性を高め、地域活性化に寄与。障害者アート支援や伝統産業の魅力発信を通じ、多様な文化の担い手支援やアート市場振興に繋げた。



関連URL

https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6zigyougaiyou_1.pdf
<https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6sosei.pdf>

実施事業②

あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を～みんなが主役の地域振興事業～

- **連 携 先**：京都府（代表）及び府下市町村（17自治体）
- **実施期間**：令和3年度～令和7年度（5年間）
- **事業概要**：若者たちが京都で夢を実現できる環境をつくり、定住・移住を促すことで、新たな人の流れを生み出し、京都ならではの伝統や文化が息づく「暮らし・生き方」のモデルを創出。多様な人との交流で、誰もが住みやすい豊かな地域を育む。



- **本市の主な取組（令和6年度）**：

- ▶ 京都市移住サポートセンターにおける「しごと」「住まい」「子育て支援」など移住に関する相談対応、移住フェアへの出展などの総合的な移住支援
- ▶ 京都駅周辺エリアの活性化に向けた多様な地域主体の連携強化、活動支援の実施、地域に身近な場所での芸術活動・交流の場づくり、芸術系大学生・若手アーティストに向けた広報誌の発行
- ▶ 西陣地域の活性化に向けた様々な主体の連携強化、担い手づくり事業の実施、情報発信
- ▶ 観光に対する市民共感の輪の拡大のため、観光関連事業者が提供する市民限定サービスや、観光の意義・効果、課題とその対策等を分かりやすく発信する市民向けのポータルサイトを開設
- ▶ 京都ならではのスタートアップ・エコシステムを形成するため、スタートアップの資金調達や販路開拓の支援及び成長に向けたハンズオン支援等を実施、人材確保支援のための交流会等の開催 など

- **本市の基本目標・数値目標**：

- ▶ 豊かに暮らせるまち：観光やまちの賑わいづくりへの「京都遺産」活用事例数 40件（目標値30件）、「京都を彩る建物や庭園」の認定・選定件数 認定245件、選定616件（目標値 認定234件、選定650件）
- ▶ 移住相談や起業支援、地域情報発信を多角的に展開。「京都遺産」活用40件、「京都を彩る建物や庭園」の認定245件など主要な数値目標を達成し、若者や多様な人材が活躍できる、活力と魅力にあふれた地域づくりを着実に推進。

関連URL

https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6zigyougaiyou_1.pdf
<https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6sosei.pdf>

実施事業③

移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」

- **連 携 先**：京都府（代表）及び府下市町村（11自治体）
- **実施期間**：令和4年度～令和8年度（5年間）
- **事業概要**：移住者等を積極的に受け入れ、移住者や関係人口が活躍できる地域を各地に展開するとともに、地域の特色に合わせた活躍テーマを明示することにより、移住検討者に選ばれる「移住するなら京都」への取組が地域の活性化に繋がる好循環を目指す。
- **本市の主な取組（令和6年度）**：
 - ▶ 若者・子育て世代や次代のまちの担い手となる層をターゲットとした中古住宅に住む魅力等を直接届けるイベントの開催、ウェブサイトやSNSによる情報発信による空き家の活用・流通を促進
 - ▶ 京都市定住・移住応援団と各局が連携した定住・移住の促進に向けた様々な事業の実施（13件）
 - ▶ 応援団と各区の公民連携での課題検討・事業検討・実証実験による定住・移住促進事業の実施
 - ▶ 交流会や個別相談会の実施による応援団同士及び応援団と京都市各部署との連携促進のほか、新たな定住・移住促進事業創出促進
 - ▶ ホームページやSNS等による発信強化や地域内外との交流イベント等の実施により、地域ごとの魅力発信やまちづくり活動を推進
 - ▶ 経営革新により持続的な成長が期待される企業の認定（オスカー認定）をはじめ、将来性の高い中小企業の発掘から育成まで一貫したきめ細やかなサポート（R6新規認定3社）
 - ▶ 若手起業家や創業を目指す学生、ベンチャー経営者と先輩経営者等の交流と促進や、市内中小企業と世界のモノづくりベンチャー企業とのマッチング等により、新たなビジネスモデルや価値の創出を推進 など
- **本市の基本目標・数値目標**：
 - ▶ 豊かに暮らせるまち：生産年齢人口比率 62.0%（目標値60.1%以上）
 - ▶ 生産年齢人口比率（62.0%）は、目標（60.1%以上）を達成。若者・子育て世代向けのイベントや空き家活用、有望企業への認定制度等の多角的な取組により移住者を呼び込み、地域の新たな担い手確保と経済の活性化に貢献。



実施事業④

「人づくり」から「しごとの場づくり」まで一体で創造する京都・キャンパス創生事業

- **連携先**：京都府（代表）及び府下市町村（1自治体）
- **実施期間**：令和4年度～令和6年度（3年間）
- **事業概要**：若者の府内定着を図るため、地域で活躍できる人材を育成するとともに、大学の魅力向上による学生の確保を進める。また、府内企業においてデジタルネイティブ世代である学生が活躍できる雇用環境を創出する。
- **本市の主な取組（令和6年度）**：
 - ▶ 学生向けアプリを活用した学生目線での広報活動、市営住宅における大学との連携による地域コミュニティの活性化
 - ▶ 留学生誘致活動、留学生の区役所での行政手続き支援や文化芸術体験を実施
 - ▶ 地域企業の魅力発信や地域企業と学生との交流会等による担い手確保の支援
 - ▶ スタートアップオフィス兼交流施設「淳風bizQ」におけるビジネスセミナーや交流の実施
 - ▶ 社会的企業の認定をはじめとする各種支援及びWEBサイト・SNSによる情報発信等
 - ▶ オール京都で地域企業の輸出拡大、京都への外国企業の誘致促進、地域企業と外国企業との共同ビジネスの促進に関する相談・支援を実施。宿泊業界への担い手確保や定着に向けた働く魅力の情報発信及び宿泊事業者向けセミナーや学生との交流会を実施
- **本市の基本目標・数値目標**：
 - ▶ 人が育つまち：市内の学生数が全国の学生数に占める割合 5.10%（目標値 5.00%）
 - ▶ 学生と地域企業との交流や起業支援を強力に推進し、市内中小企業への就職者数は目標を大幅に超える1805名を達成。学生数の割合目標も達成し、「人づくり」から「しごとの場づくり」まで一貫した取組で若者の府内定着を促進。



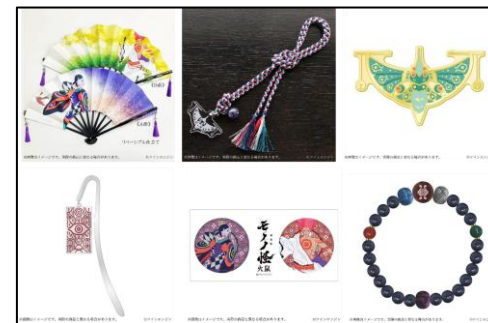
関連URL

https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6zigyougaiyou_1.pdf
<https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6sosei.pdf>

実施事業⑤

京都文化を背景として世界市場で存在感を放つ、京都の伝統産業の「生活文化提案型産業」への変革促進事業

- **連携先**：京都府（代表）及び府下市町村（3自治体）
- **実施期間**：令和4年度～令和6年度（3年間）
- **事業概要**：業界の生産体制の再構築を支援する施策と、海外などの新規市場開拓の「出口」支援を両輪で行うことにより、京都の伝統産業を、現代の生活様式に溶け込んだ「生活文化提案型産業」へと変革させ、業界全体の再生・再構築を目指し、持続可能な後継者の育成を推進する。



『劇場版モノノ怪 第二章 火鼠』 × 京ものコラボ

● 本市の主な取組（令和6年度）：

- ▶ コンテンツという文化を活用した経済の好循環の創出のための交流会（5回、447人参加）やアイデアソン等（2回、270名参加）の実施
- ▶ キャラクタービジネスに関するビジネスマッチング機会の創出（10企業参加）、商品開発支援（7商品）の実施
- ▶ 京都クリエイティブ企業キャリアフォーラムを開催（17企業、275人参加）
- ▶ 京都国際クリエイターズアワードを実施（869作品応募）
- ▶ 京都を題材とした作品企画につながる滞在型ワークショップを実施（若手クリエイター等15名参加）
- ▶ 学生・クリエイターを対象とした3DCGやXR等の最新デジタル技術に関するセミナー（52名参加）や映像配信（171回再生）を実施

● 本市の基本目標・数値目標：

- ▶ 豊かに暮らせるまち：生産年齢人口比率 62.0%（目標値60.1%以上）
- ▶ 交流会やマッチングイベント、クリエイターへのスキルアップセミナー等の開催、伝統産業とコンテンツ等の異分野のビジネスマッチングにより7件の商品開発を支援するなど、デジタル技術を活用した地方におけるビジネス活性化に取り組んだ。

実施事業⑥

京もののブランド総合戦略事業

- **連 携 先**：京都府（代表）及び府下市町村（17自治体）
- **実施期間**：令和4年度～令和6年度（3年間）
- **事業概要**：高機能性品種の研究・育成、加工食品の開発等を行い、府内農林水産物の新たなブランド価値の創出を図る。また、食に関わる多様な事業者が連携し、新しいライフスタイルに対応した商品・サービスの開発や販売チャンネルの拡大を実現させる京もののブランドサプライチェーン構築を図る。
- **本市の主な取組（令和6年度）**：
 - ▶ グリーンな栽培体系への転換に向けた取組支援及び消費者理解の醸成に向けた地域ブランドの推進
 - ▶ 食品衛生月間等における啓発活動などによる市民や観光旅行者等の食の安全安心に係る普及啓発
 - ▶ 伝統文化を受け継ぐ京都ならではの食育の推進のため、日本料理の神髄である「だし」のうまみを体感する食育カリキュラムをはじめ、多様な主体の協力を得て様々な食育事業を展開 など
- **本市の基本目標・数値目標**：
 - ▶ 豊かに暮らせるまち：生産年齢人口比率 62.0%（目標値60.1%以上）
 - ▶ 生産年齢人口比率62.0%と目標（60.1%以上）を達成。「だし」を活かした食育推進やグリーンな栽培体系への転換支援等を通じて「京もの」のブランド価値を向上させ、食関連産業の振興と、それを担う人材の確保・定着に貢献した。



関連URL

https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6zigyougaiyou_1.pdf
<https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6sousei.pdf>

実施事業⑦

びわ湖疏水船事業を中核とする疏水フィールドミュージアム広域化事業

- **連 携 先**：滋賀県大津市（代表は京都市）
- **実施期間**：令和4年度～令和8年度（5年間）
- **事業概要**：官民が連携したプロモーションを展開し、疏水通船及び疏水沿線への誘客を図る。京都から大津・琵琶湖へと広域観光を深化させ、観光需要を創出し、地域経済の底上げを図る。



- **本市の主な取組（令和6年度）**：

- ▶ 航路延伸便と連携した琵琶湖周遊観光事業の磨き上げのため、新規サービス（記念写真）構築支援事業を実施
- ▶ 疏水ツーリズム促進事業における市民への琵琶湖疏水啓発（親子乗船会等）、インバウンド推進に向けた多言語音声案内システムの延伸対応、インバウンド向け乗船会等を実施
- ▶ 航路延伸ガイドの人材育成等の運営支援
- ▶ 民間活力を推進するため、企業版ふるさと納税のPRを実施

など

- **K P I**：※計画全体で設定されるK P Iのため、本市の取組と直接結びつかないものもある。

指標	基準値 (開始前)	令和6年度の状況	
		目標値	実績値
大津市観光消費額＜単位：億円／年＞	1,050	1,845	1,680
大津港周辺の来訪者数＜単位：延べ千人／年＞	2,671	4,919	4,396
びわ湖疏水船教育目的乗船者数＜単位：延べ人／年＞	550	1,200	4,216

関連URL

https://www.chisou.go.jp/sousei/about/kouhukin/zirei_gaiyo/pdf/kyoto_r6.pdf
<https://biwakososui.kyoto.travel/>

実施事業⑨

大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業

- **連携先**：京都府（代表）及び府下市町村（5自治体）
- **実施期間**：令和5年度～令和7年度（3年間）
- **事業概要**：会期前の機運醸成、会期中の京都の強みである「文化・環境」「産業」「観光」の分野に係るイベントや国際会議などによる誘客、会期後にも継続的に人や投資を府内各地へ呼び込むための仕掛けをオール京都で展開し、京都の文化・産業の活性化と人材の育成につなげる。



- **本市の主な取組（令和6年度）**：

- ▶ 万博に向けた機運醸成・誘客等を推進するため、商品造成やリアルプロモーション、通訳案内士等に対する研修などを実施
- ▶ 地域経済の活性化を図るとともに、市民生活と調和した持続可能な観光を推進するため、京都観光モラルや観光マナーの啓発、インバウンドの受入環境の整備やプロモーション等を実施
- ▶ SDGsに貢献するMICEの開催・誘致、旅館の魅力発信支援・閑散期における旅館への誘客支援
- ▶ 大阪・関西万博を契機とした伝統文化への誘客のため、伝統文化を紹介する特設ページの政策、市主催公演の多言語化・キャッシュレス化、「狂言」魅力発信のための展示等
- ▶ 首都圏向けの交通広告や鉄道ルートでの周知・案内、パークアンドライド利用の促進など京都駅一極集中等の緩和に向けた情報発信の強化など

- **本市の基本目標・数値目標**：

- ▶ 豊かに暮らせるまち：観光やまちの賑わいづくりへの「京都遺産」活用事例数 40件（目標値30件）
- ▶ 大阪・関西万博を見据え、京都の文化や観光の魅力を効果的に発信する基盤を強化した。持続可能な観光推進やMICE誘致にも取り組み、国内外からの来訪者を迎える機運醸成と環境整備を着実に進めた。

関連URL

https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6zigyougaiyou_1.pdf
<https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/documents/r6sosei.pdf>

実施事業⑩

若者の活躍・夢実現と活力ある京都経済づくり事業

- **連 携 先**：京都府（代表）
- **実施期間**：令和5年度～令和7年度（3年間）
- **事業概要**：大学生に対して在学中から京都企業への理解促進やマッチング機会の創出を通じて、中小企業の持続的発展を支えると同時に、海外人材も含めたスタートアップ支援の強化により、若者の活躍・自己実現と活力ある京都経済づくりの好循環を生み出す。
- **本市の主な取組（令和6年度）**：
 - ▶ GXにつながる研究開発や大学発のスタートアップの発掘等の伴走支援（研究者3件）
 - ▶ 脱炭素経営を促すセミナーの開催（3回）、相談窓口の設置（76件受付）
 - ▶ 中小企業に対するグリーンイノベーション構築に向けた取組支援（4件）
 - ▶ 「化学分野」「電子部品」の企業間ネットワーク「京都グリーンケミカルネットワーク（KGC-net）」における新規プロジェクトの創出支援（マッチング支援件数：40件）
 - ▶ 海外展開を目指す製品・サービスの市場調査、展示会出展、製品改良・開発への助成（17件）
 - ▶ 専門のコーディネータによる円滑な海外進出に向けた支援を実施
- **本市の基本目標・数値目標**：
 - ▶ 豊かに暮らせるまち：スタートアップ設立件数 222件（目標値166件）
 - ▶ 若者の活躍と企業の成長を支援した結果、スタートアップ設立件数は目標（166件）を大きく超える222件を達成。GXや脱炭素経営、海外展開支援など新たな社会ニーズに対応した多角的な取組を実施し、若者が夢を実現できる活力ある京都経済づくりを着実に推進した。



効果検証の結果等

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金の効果検証結果等については以下のとおり。

●課題等

- 交付金に頼らない持続可能な運営に関する課題
 - 交付金期間終了後の事業をいかに継続・発展させるか、または市の恒常的な機能やサービスとして定着させるかについて、計画時点から検討を進める仕組みが必要。
- 成果の分野横断的な展開・波及に関する課題
 - 各事業の成果がそれぞれの事業内で留まり、市全体の他の事業へ横展開・波及できる仕組みとなっているか。事業の成果を最大化するため分野横断的に波及させる仕組みが必要。
- 事業成果の地域活性化への波及力と目標設定の課題
 - 個別の取組と地域全体の活性化という最終目的との繋がりが不明瞭。目標達成に繋がる計画作成が必要。

●見直し方針等

それぞれの課題に対し、以下の手法について検討する。

- 交付金終了後の継続性について
 - ファンドレイジング相談会や助成手法の周知、過去事業の成果の共有等による自走化（一般財源化含む）支援
- 分野間の横断的展開・地域活性化の進捗管理の手法について
 - 個別事業に関する結果及び定量的・定性的な評価等の情報共有により、事業間の相乗効果を高め、全体の効果を最大化